

内装の木質化は地球を救うか?!

木材は環境に優しい材料として広く認識されています。木材利用を促進することにより、森林・林業が活性化し、森林の保全にも役立っています。木質材料を構造材として建築物を作るだけでなく、鉄筋コンクリート構造(RC造)や鉄骨構造(S造)の建物の内装に木材を利用することが増えており、これにより木材利用の活性化を図ることができます。

内装の木質化には火災安全上の使用量制限がありますが、法改正や不燃性あるいは難燃性のある木質材料の開発により、その制限がクリアできるようになってきています。

NPO法人「オの木」では、木材の持続的利用に関するテーマでトークカフェを開催していますが、今回は、内装木質化の現状と行政の取り組み、内装木質化による児童への生理的な影響について話題提供を行っていただき、参加者とトークしていただきたいと考えております。

日時: 令和3年2月27日(土)
14時00分～16時00分

場所: Zoom

主催: NPO法人才の木

後援: (一社)日本木材学会

参加費: 無料 ただし事前登録が必要です。

参加方法: オの木Webページ、あるいは下記QRコードの「参加用フォーム」から申し込みください。

「登録用フォーム」のURLは開催一週間前ごろに再度メールいたします。
「登録用フォーム」に記入していただくと、トークカフェのURLが自動的に送付されます。



内容

- 14:00～ 開会挨拶: NPO法人才の木・理事長 竹村彰夫
- 14:10～ 木質内装化の取組
長野麻子(林野庁木材利用課長)
- 14:45～ 校舎の木質化が教室内環境および児童に与える影響
恒次祐子氏(東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)
- 15:20～ トークセッション

司会・コーディネーター: 仲村匡司(NPOオの木、京都大学)